

【 本日の報告事項 】

(1) 23 年度普通会計決算見込みについて

- 普通会計の実質収支は 124 億。4 年連続で黒字を維持。税金は 4 年連続減少
- 一般会計の実質収支（決算剰余金）は 105 億円
→ 財政調整基金と減債基金に 1/2（約 53 億）ずつ積立（財政運営基本条例⑳）

(2) 減債基金の見える化について

- 減債基金残高（23 年度末） 2,814 億

	臨財債等	その他（臨財債等以外）	繰上償還等
残高	200 億	1,665 億	949 億
積立不足額	1,451 億	2,802 億	0 億

(3) 粗い試算の改定について

- 改定のポイント
→ H23 決算剰余金を反映、H35～37 の要対応額のヤマを平準化
→ しかし、28 年度まで引き続き厳しい財政状況は変わらず
- 今後の課題
→ ①財調基金積立目標 ②減債基金復元 ③臨財債等の償還財源確保

(4) 仮収支試算について

- 粗い試算に基づく仮収支試算 : H25 要調整額 525 億（A）
→ 財政調整基金の緊急避難的活用（残高の 1/4） : 230 億（B）
- 残り 約 300 億（A - B）を、今後、歳出削減・歳入確保でカバーする必要

(5) 「事務事業の総点検」の実施について

- 全ての事務事業について、この夏、各部局長自ら「総点検」を実施